

ここからスタートするよ



倒れてるよ



エピソード

ラップ芯を転がして遊んでいたA児は、積み木を並べて遊んでいたB児を見て、A児「並べてみたい」と、ラップ芯を並べ始めました。その様子を見てB児「一緒に並べて倒してみよう」と、ラップ芯と積み木と一緒に並べドミノ遊びをしようと思いました。並び終わると、B児は丸い積み木を持ってきて「この積み木をスタートにしよう」と、A児に話しかけました。A児は「よーいどん」と声を掛け、B児が丸い積み木を転がしましたが、並べた積み木が倒れず少しずれただけでした。A児が「倒れないよ」と、少し困ったような表情をしていると、周りで同じようにドミノ遊びをしていた友達が「積み木の間を少し開けたら、パタパタって倒れたよ」と近くで話し始めました。①「積み木と積み木の間を少し開けるといいみたいだよ」と知らせると、B児「もう一回やってみよう」と、また並べ始めました。次は、思ったように少し倒れ、A児「倒れたよ」と保育者に伝え①「本当だ、間を開けるといいんだね」というと、二人で顔を見合わせて喜び、また並べ始めました。

保育者の思い

- ・友達のしていることに興味をもって、一緒にしてみたい、一緒にしようとする姿を大切に、友達とかかわる楽しさを感じてほしいと思っています。
- ・思うようにいかなかったことに「なぜ？」という気持ちをもってほしいと思い、少し見守ることにしました。
- ・友達の言葉にも耳を傾けてほしいという思いから、友達が伝えてくれたことを代弁するようにしました。
- ・倒れたという喜びを受け止め、一緒に喜ぶことで、またやってみようという気持ちをもってほしいと思っています。

子どもの育ちや学び

- ・友達のしていることに興味もち、一緒にやってみようとする姿が見られています。
- ・近くで見ていた友達も興味をもつことで、アイデアを伝えようとする姿が見られ、思いを伝える姿につながっています。
- ・少しずつ友達のアイデアに耳を傾け、保育者の言葉を聞きながら、友達の考えを受け入れてやってみようとしています。

家庭だったら・・・

- ・子ども達は、生活や遊びの中で様々なことに興味をもっています。遊んでいる中で気付いたことを伝えようとする子どもの言葉にゆったりと耳を傾けてみてください。子どもならではの面白い気付きがあるかもしれませんね。